

### 第3回 テクノバ賞（先進技術シーズ研究への研究助成） 応募要領

#### 1. 研究助成の趣旨

私共株式会社テクノバは、先端技術の調査・プロモーションを使命とするシンクタンクです。私共では、居住空間や歩行空間などの領域で人間をサポートする「自律走行モビリティ」は、未来社会における都市のあり方やライフスタイルを形作るキー技術の一つであると考えます。ガートナー社のハイプサイクル等では、自律走行モビリティ技術は市場で採用されるのに10年以上と予測していますが、現在の萌芽的研究こそが自律走行モビリティの未来を作り出すと考えております。

テクノバは今こそが、自律走行モビリティの分野や技術の発展に一石を投じるタイミングだと考えます。中長期的な視点で人間と自律走行モビリティの共生的発展を見据え、この分野において先駆的な研究開発に着手されている方や、革新的なアイデアをお持ちの研究者や開発者をテクノバ賞と銘打ち、研究助成支援させていただきます。



#### 2. 自律走行モビリティの例

自律走行するパーソナルモビリティやサポートロボットなどを、自律走行モビリティとして想定しています。一例として、アイシン精機株式会社が開発しているパーソナルモビリティ「ILY-Ai」を紹介します。



##### 《ILY-Ai》の特長

- 1つの躯体が、ビークル、スクーター、カート、キャリーの4つの形に変形
- 「知能化安全技術」を搭載  
二次元/三次元距離画像センサを活用した環境認識技術で、「お出迎え・ついてくる・自分でおうちに帰る」ことができ、人々の日常生活を賢くサポートする、パートナーモビリティ

#### 3. 助成の名称

「テクノバ賞」

#### 4. 第3回 研究助成分野

下記の4分野のいずれかに対する中長期的な視点での研究開発テーマを募集します。お選びになったテーマに関する研究計画をご提案ください。未来社会に対してインパクトのある研究成果を出すためには、複数年に亘る取り組みが必要になると考えられます。研究計画には、3～5年後にどのような成果を目指すのか、その実現にどのようなアプローチを用いるのか、そのマイルストーンとして1年目にどのような成果が提示できるか、を含めてください。今回の助成対象期間は1年間ですが、成果に対する評価次第で助成が継続される可能性もございます。

##### ① 物体認識

- 歩道内での自転車、人、犬、植栽、車止め、信号、横断歩道等の認識技術
- 屋内での自動ドア、エレベータ、エスカレータ、スロープ等の認識技術

- ② リスク判定
  - ・静的障害物のリスク判定→段差、スロープ、固定障害物
  - ・移動体のリスク判定→歩行者、自転車の行動予測
- ③ 経路生成
  - ・屋内や屋外を安全確実に走行するための自律的な走行経路の生成
  - ・ILY の形状と動作・機能を考慮した走行経路生成
  - ・屋内外をシームレスに繋ぐ経路生成
  - ・移動障害物へ対処する経路生成
- ④ 追従関連
  - ・屋内や屋外における人への追従
  - ・追従すべき個人の認証や、その人の位置や動作の推定
  - ・屋内外など、いろいろな場の環境に合ったシームレスな人間追従

## 5. 助成金等

- ・ 助成金額は、1 件あたり 100 万円を上限とします(申請金額を勘案し、決定します)。
- ・ 研究開発用として、アイシン精機株式会社製パーソナルモビリティ「ILY」を 1 年間貸与します。
- ・ 助成決定時期： 2018 年 3 月上旬
- ・ 給付時期 : 2018 年 4 月 2 日(予定)
- ・ 助成対象期間： 2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日

## 6. 助成件数

研究助成分野の①～④で、2 件程度を予定しています。

## 7. 応募資格

大学、研究機関に所属の研究者または個人の研究者。

## 8. 募集期間

2018 年 1 月 1 日～2018 年 2 月 10 日

## 9. 応募方法

- ・ 所定の応募書類に必要事項を記載の上、郵送または Email でお申込みください。
- ・ 応募書類には、応募者または第三者に帰属する機密情報を記載しないでください。
- ・ 応募書類は、返却いたしません。

## 10. 選考方法と選考結果の通知

- ・ 学識経験者および事務局による選考委員会にて選考いたします。
- ・ 所定の応募書類、資料に加え補足資料等の提出や面接を求めることがあります。
- ・ 選考結果は 2018 年 3 月上旬に、応募者へ書面にて通知いたします。

## 11. 選考委員会

委員長: 油田信一 (芝浦工業大学 SIT 総合研究所 特任教授 工学博士)  
委員: 小林一行 (法政大学 理工学部 創生科学科 教授 工学博士)  
委員: 下田真吾 (理化学研究所 知能行動制御連携ユニット ユニットリーダー 工学博士)  
委員: アイシン精機株式会社  
委員: 株式会社テクノバ (事務局)

## 12. 助成決定時の義務・条件

- ・ 選考の結果、助成対象者(受賞者)には「授賞式(2018年3月22日(木)15時開始予定 会場:都内)へご出席をお願いします。
- ・ 選考の結果、助成対象者(受賞者)には所定の「助成承諾書」を提出ください。
- ・ 助成対象期間終了日までに「研究報告書」および指定の「経費内訳明細書」を提出頂きます。また、その他必要に応じて研究の進捗状況または当該報告書について詳細事項をご説明頂く場合もありますのでご協力ください。
- ・ 助成金の使用にあたっては、経済性・効率性を十分に考慮した上で、適切な経理処理を行ってください。適正な使用について確認するため、助成の対象となった取引に関する請求書や領収書などの提出を求める場合があります。なお、助成金を目的外使用など不正利用したと事務局が判断した場合には、全額返金頂きます。
- ・ 助成対象者(受賞者)が研究成果の産業応用など事業化を希望される場合、テクノバから協力させて頂きます。
- ・ 当研究助成による研究成果を公表する際には、「株式会社テクノバからの研究助成を受けている」旨の表記をお願いする場合があります。

## 13. 助成金使途

- ・ 研究又は活動計画等の遂行に必要な謝金、旅費、備品費、印刷費、消耗品費、通信費等を含むものとします。ただし、原則として当該研究又は活動に従事する方への人件費は、助成の対象外とします。
- ・ 助成金の使途は、原則として助成決定時の支出計画の通りをお願いいたします。研究を進める過程で、助成金の使途を変更する場合、または助成対象の研究内容に重要な変更が生ずる場合は、速やかに事務局に連絡してください。必要に応じて「計画変更願」および補足資料等を提出いただきます。
- ・ 助成期間終了時までには、助成金を使用しなかった場合または助成金の一部が余った場合は、返金いただくことがあります。

## 14. 研究成果の帰属

研究成果は、応募者個人に帰属します。

## 15. 個人情報の取り扱い

応募頂きました書類の個人情報は、個人情報保護に関する法律に則り適正に管理いたします。

## 16. 応募書類データの入手、問い合わせ、応募書類送付先

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-1-1 帝国ホテルタワー13階  
株式会社テクノバ テクノバ賞担当 傳住、五十嵐、松田  
電話番号:03-3508-2280 メールアドレス:[technova-seed@technova.co.jp](mailto:technova-seed@technova.co.jp)  
ホームページ:<http://www.technova.co.jp>

## 17. 運営ならびに事務局

株式会社テクノバ テクノバ賞担当 傳住、五十嵐、松田

## 18. 本事業支援企業

アイシン精機株式会社

## 【株式会社テクノバのご紹介】

株式会社テクノバは、新たな技術の創出に寄与することを目的に、故大島恵一東京大学名誉教授らによって1978年に設立された技術系シンクタンクです。

- エネルギー、交通、先端技術分野を対象に、調査、研究、コンサルティング業務を受託
- 資本金: 160百万円
- 人員: 32名(常勤役員1・顧問1・従業員30) 2017年12月現在
- 主な取引先: 自動車関連会社、その他民間会社、国/自治体等